

1 学年だより

令和3年11月 1 日(月)

夢の宅配便

 1 年学年主任
水野 喜代治

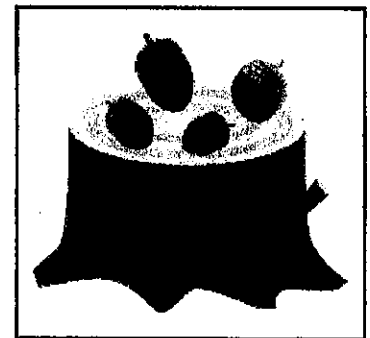
霜 月

君たちが、城山中学校に入学して、今日で登校の日数が114日ということになります。早いもので、7ヶ月が過ぎたわけです。桜の花吹雪を受けて入学して、いつの間にか新緑の葉に包まれ、たんぽぽが綿毛を飛ばし、紫陽花の葉を雨が濡らし、ひまわりが太陽と向き合い、ユリが風に揺れ、桜の葉が赤くなり、落ち葉を踏んで登校する季節となりました。校庭の風景の変化と同じように、みんなも成長しました。

言葉遣いが先生に対して友達と同じように話しかけてくる生徒が多かったのですが、自然と礼儀正しい言葉遣いをするようになりました。授業の取り組みも4月の頃は集中できない生徒が見受けられましたが、今は、集中して授業を受けることがあたり前になりました。

先日、学習発表会が終わって、今年度、学校全体で取り組む大きな行事は終わりました。これからは、進路学習や職業調べなど卒業後の進路のことを考える学習も進められていきます。小学生とは異なり、中学生は進路という生き方を考える時期となります。今まで、みんな同じ道を歩いてきました。中学校卒業後はそれぞれがそれぞれの道を歩んでいくことになります。人が歩いていく道は、一人ひとりみんな異なる道で同じ道はありません。自分が歩く道がその人の人生となります。自分だけのオリジナルの道です。意味のない道は一つとしてありません。道は、歩いていくと必ず分かれ道にぶつかります。人は必ずどちらかの道を選ばなければなりません。立ち止まることは出来ても、そのまま進まないでそこにいることは出来ません。どちらかの道を選択して進まなければなりません。どちらの道を歩むかを決めるのは自分自身です。他人に決められた道は、転ぶと必ず後悔します。道は自分で決めるものなのです。

人生の最初の分かれ道を決める選択が3年生であります。進路選択です。1年生の今から、自分の道をしっかり考えていきましょう。なぜなら自分の歩く道だからです。自分らしく。自分の道を歩いていってください。



霜月は、霜が降りる月という意味です。厳しい冬に向かっていく時節となりましたが、次に桜が咲く時は2年生です。この冬に、2年生になる準備をしなければなりません。今年の冬はこれまでの同じ気持ちで迎えないようにしてください。今年の冬は2年生になる準備の冬であることを意識してくださいね。春に大きく花を咲かせるために、この冬に栄養をしっかり蓄えていきましょう。頑張れ、1年生！

気持を切りかえる

気持を切りかえるには

何かと捨てるければ

ならない

どうにもならない事に

こたゆてスルズルと

していると前に進めな

きももつ

切りかえよう

キヨ